

部会だより

句碑二話

鶴申会において、六十周年記念事業の「俳句大募集」が十一月にかけて行われました。

募集要項の例題にありましたが、かの松尾芭蕉。そして芭蕉の句碑が川崎にある事を脳裏によぎり想い出して、過ぐる小春日和にカメラと共に訪ねましたのが別添。場所は旧東海道に面しており、京急「八丁綴」駅前踏切の際で、句碑は百八十年前の由。

芭蕉さんが江戸深川の宅より郷里伊賀上野へ向かう時に川崎での句詠。その年元禄七年十月大阪にて逝去との事。

句碑その二は、無名の句で、「日経」紙上で目にしたもの。

山梨県身延町に於いて、町興しの一つとして生まれたのが、「句

碑の里」全国から俳句を募集し、句碑として、町道脇に建立する事柄の主旨。甲州は石の産地で、町には石工も多いとの事。高さ七〇cm、幅三五cmの石碑が、つずら折りの道に一千基以上が延々と続く由。費用は勿論掛ります。

鶴見東部会

部会長 池淵 巖



芭蕉の句碑

謹んで地震災害の

お見舞いを申し上げます

この度の東北関東大地震により被害を受けられました皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

鶴見青色申告会

三陸沖を震源とする非常に強い地震が発生し、これにより東北地方を中心に広い範囲で大きな被害が生じております。

被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

東北関東大地震の被害に対して支援のご協力をお願いいたします。

当会で救済金の受付をしております
受付に箱を用意しましたので
是非よろしくお願い申し上げます

みんな

が

日本



**5月21日（土）予定の
三ツ池公園フェスティバルは、
中止になりました。**